

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2017-2002	利用するもの	すでに分譲許可を受けているコホートデータに加え 新たに必要なメタボローム測定のための血漿及びその解析結果		
主たる研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構		分担 研究機関	東北大学他部局等	
研究題目	日本食コンポーネントが動脈硬化指標に与える影響-オミックス網羅的 解析を用いた検証		研究期間	承認日～平成30年3月31日	
実施責任者	寶澤 篤	所属	東北メディカル・メガバンク機構	職位	教授
研究目的と意義	<p>1. 日本食コンポーネントと頸動脈内膜中膜肥厚の関連を検証 2. 日本食コンポーネントと動脈硬化危険因子(家庭血圧・中心血圧・総コレステロール・HDLコレステロール・血糖・ヘモグロビンA1c)との関連を検証 3. 上記1.2. の項目の関連を修飾する代謝物質をメタボローム解析から同定</p> <p>●「日本食コンポーネント」と動脈硬化の関連を明らかにできる点 ●その関連を説明する危険因子・代謝物質を明らかにできる点 特に関連を修飾する代謝物質の同定はこれまで明らかにならなかった日本食と動脈硬化性疾患の関連を解明する糸口となることが期待され、循環器疾患予防に焦点を当てた創薬研究にもつなげることが可能だと考えられる。</p>				
研究計画概要	本研究は、日本食コンポーネントと動脈硬化の中間指標である頸動脈内膜中膜肥厚などの関連を調査すると同時に、メタボローム解析を用いて日本食コンポーネントと動脈硬化のパスウェイにある代謝物質を網羅的に探索する。				
期待される成果	「日本食コンポーネント」と動脈硬化の関連を明らかにできる その関連を説明する危険因子・代謝物質を明らかにできる				
これまでの倫理 審査等の経過お よび主な議論	既に承認を受けている地域住民コホートの研究の一環として位置づけられる。また、解析についても「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」はすでに試料・情報分譲審査委員会の承認を受けている 一方、解析に必要なメタボローム(核磁気共鳴分光法(NMR)で測定した代謝物質で37種、質量分析法(MS)で測定した代謝物質で201種)測定のため試料の解析が必要となるため、今回別途申請を行うものである。				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」はすでに試料・情報分譲審査委員会の承認を受けている、また当該研究で測定されたメタボローム情報はバンクに格納され、分譲に供される				
その他特記事項	科学研究費助成事業(基盤研究(B))				
* 公開日	平成29年10月18日				